



## 当センターの理念

リハビリテーション医療の技術を通じ、身体障害者（主に肢体障害者）のQOL（生活の質の向上）に奉仕する。

吉備高原医療

リハビリテーションセンター広報誌

2023年（第133号）



## 当センターの「専門的リハビリテーション医療」と「地域医療」、そして「デジタル田園健康特区」へ

平素より、当センターをご支援いただきまして、心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

当センターの医療は、「専門的リハビリテーション医療」と、住民の皆様への「地域医療」の2つを柱としております。ただ、それらはオーバーラップする部分も多く、互いにそのノウハウを生かすべきものであり、この度は、そのことに触れたいと思います。

当センターの「専門的リハビリテーション医療」の主な対象者は脊髄損傷を負われた方です。脊髄損傷という疾病は、脳血管障害などに比べると発生頻度が低いために、身近に感じる方は少ないかもしれませんが。ただ、東京オリンピック・パラリンピックでもたくさんの方が活躍し、テレビコマーシャルに出演する方もできましたので、脊髄損傷者を目にする機会は確実に増えています。脊髄は、脊椎（いわゆる背骨）の中を走る神経で、脳と全身の臓器との間の情報を伝える役割をしています。そのため、怪我や病気による脊髄損傷は、手足の麻痺だけでなく、膀胱や腸の動きと感覚、損傷の部位によっては呼吸器などの様々な臓器に影響を及ぼすこととなります。また、怪我による受傷が多いこともあって、リハビリテーション医療の対象となる他の疾病に比べて、活動性の高い若年者が多いことも特徴です。したがって、障害は重度でも、「仕事に戻る（職業復帰）」を目指して頑張る方も少なくありません。

2013年WHOは、特定の疾患としては初めて、脊髄損傷についてworld report（“International Perspectives on Spinal Cord Injury” 脊髄損傷に関する国際的展望）を提示しています。以下は、その序文より一部抜粋した文章です。「我々は、“脊髄損傷”からチャンスを得ることができる。これには2つの側面がある。1) 脊髄損傷という疾病は医療システムのはほぼすべての側面を必要とする。したがって、医療システムを脊髄損傷の課題に効果的に対応できるようにすれば、他の多くの病気や怪我にもより良い対応ができるようになるのである。2) 脊髄損傷者に手厚い世界は、必然的に障害者全般をより包括的に受け入れるようになる。アクセシビリティが向上し、支援装置が利用可能になれば、世界中の何百万人もの障害者や高齢者への支援になるであろう（執筆者訳）。」

ご存知のように、吉備中央町は昨年「デジタル田園健康特区」として指定されました。今年はさらに活発な動きがあることと思います。WHOの文章が示しますように、脊髄損傷への対応は、今まさに求められている“ダイバーシティ&インクルージョン”から街づくりを考えることにつながります。地域医療におきましても、リハビリテーション医療のマインドと技術が非常に有効なのです。

当センターも、リハビリテーション医療の技術や知識を役立て、吉備高原都市の街づくりに貢献し、地域住民の皆様信頼され愛される医療機関になるよう努めております。本年も、引き続き、皆様の一層のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

吉備高原医療リハビリテーションセンター

院長 古澤 一成

## ☆ 医療安全推進週間で手指衛生チェックを実施しました！ ☆

皆様は「医療安全推進週間」をご存知でしょうか。

厚生労働省では、平成 13 年から「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動（PSA）」と命名し、総合的な医療安全対策を推進しています。その取組の一環として、平成 18 年度から「11 月 25 日（いい医療に向かって G0）」を含む 1 週間を「医療安全推進週間」と定め、国民の皆様の理解や認識を深めていただくため様々な事業を実施しています。

当院でも平成 18 年度から医療安全に関する川柳や医療安全に大切な 3 つの言葉、患者確認（吉備中央町と全国の苗字ランキングの比較）、転倒・転落防止（入院中に気をつけること）の DVD 上映など様々な取組を行ってきました。

今年度は「手指衛生」をテーマに、患者さんやご家族、来院の皆様  
に手指消毒の実施状況を実際にご自身で確認していただきたいと考えて  
下記のとおり実施いたしました。



新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染防止対策の一つとして、様々な施設に手指消毒用のアルコール消毒剤が設置されました。病気を引き起こす病原菌が身体に侵入してくる時、最も頻度が高いと考えられているのが『手指』を介した感染と言われています。自分が実施している手指の消毒は、手指全体に行えているでしょうか。消毒剤の量が多いからと、ハンカチで拭き取っている方も見受けられますが、手指全体の消毒に必要な 1 回量が自動で噴霧されています。しっかりとまんべんなく手指全体の消毒をお願いします。

- ◆ 実施日 : 令和 4 年 11 月 22 日（火）及び 11 月 24 日（木）
- 時 間 : 9 時 30 分～14 時 00 分
- 実施人数 : 31 人（外来患者・来院者に実施）
- 実施場所 : 吉備高原医療リハビリテーションセンター 1 階薬局前





## 短期訓練入院について



当センターでは、在宅で生活を送られている脊髄損傷患者を対象に、療養・介護生活を医療面から支えることを目的とした短期入院を行っております。

当センターでの入院歴があり、在宅で生活している方が対象で入院期間は1ヶ月程度です。医療面からの支えとして、機能低下に対するリハビリテーションを行ったり、必要に応じて検査

(MRI・CT・血液検査・骨密度・肺機能検査・胃カメラ・座圧測定等) や福祉用具の調整も行っています。

また、当センターは独立行政法人自動車事故対策機構（以下、ナスバ）が実施する短期入院協力病院の認定を受けております。こちらは自動車事故が原因で在宅生活を送られている方で、ナスバが支給する介護料を受給している方が対象です。入院期間は1回あたり原則14日以内ですが、リハビリ目的の入院に限り1回あたり30日まで可能です。（年間の上限日数は45日）ナスバから短期入院にかかる費用の助成もあります。

短期訓練入院を希望される方は、当院の地域医療連携室

([TEL:0866-56-7046](tel:0866-56-7046))までご相談ください。

独立行政法人自動車事故対策機構関連URL

[https://www.nasva.go.jp/news/pdf/2022/20220401\\_2.pdf](https://www.nasva.go.jp/news/pdf/2022/20220401_2.pdf)

# 外来担当表 (令和4年11月1日現在)

受付時間 午前8時15分～午前11時30分まで

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	内科1診		大森			
	内科2診	安藤				
	内科3診					渡邊
	循環器内科 ※診療 8:50~11:00 ※検査 11:00~12:00					宮地
	胃カメラ			他院医師		
	脳神経内科	高宮				
	整形外科1診	茂山	徳弘	茂山	茂山	
	整形外科2診	坂本	(佐藤)	坂本		坂本
	リハ科	岩井	池田	古澤	難波	難波
	泌尿器科	国立医師				岡大医師
	皮膚科 (完全予約制) 受付時間8:15~11:00		国立医師 (第2・第4)			国立医師
	歯科	合田	合田	合田	合田	合田
	その他	Brace Clinic 書類外来				
午後	内科1診 (13:00~16:00)				他院医師	
	特殊外来					せき損外来 古澤
	整形外科					濱田 (予約制)
	泌尿器科					岡大医師
	歯科	合田	合田	合田	合田	合田

都合により診療日が変更となる場合があります。

当センターでは、医療や福祉の医療機関と密接な連携を図り、患者様に適切かつよりよい医療サービスが提供できるように「地域医療連携室」を設置しております。

紹介患者様に関すること、病院受診について当院に関するお問い合わせなどございましたら、どうぞお気軽にお申し付けください。

地域医療連携室の連絡先・業務時間等は以下のとおりです。

TEL : 0866-56-7046 FAX : 0866-56-7148

E-mail : soudan@kibirihah.johas.go.jp

月曜日～金曜日 8:30～17:00 (祝祭日・年末年始を除く)

吉備高原医療リハビリテーションセンター 広報委員会発行

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川7511

TEL : 0866-56-7141 FAX : 0866-56-7772 発行担当者 西尾 (内線126)

ホームページアドレス: <http://www.kibirihah.johas.go.jp/> E-mail : syomu@kibirihah.johas.go.jp

「高原の虹」のバックナンバーやその他お知らせについては、ホームページをご覧ください。